

各位

上場会社名 株式会社 神戸物産
 代表者 代表取締役社長 沼田 博和
 (コード番号 3038)
 問合せ先責任者 取締役兼経営企画部門 部門長 矢合 康浩
 (TEL 079-496-6610)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年12月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	198,620	4,970	5,070	3,050	434.34
今回修正予想(B)	214,170	5,170	6,430	2,570	365.61
増減額(B-A)	15,550	200	1,360	△480	
増減率(%)	7.8	4.0	26.8	△15.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	179,499	1,956	4,012	2,929	381.88

平成26年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,710	4,110	2,850	405.86
今回修正予想(B)	185,760	5,470	3,460	492.22
増減額(B-A)	12,050	1,360	610	
増減率(%)	6.9	33.1	21.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	167,078	3,008	2,708	353.16

修正の理由

平成26年10月期は、第2次安倍政権の経済対策や日本銀行の金融緩和による円高の修正等により、製造業を中心に景気回復の兆しが見られ、企業収益改善への期待感が高まっている一方で、消費増税後の国内個人消費の不振や海外経済の下振れ懸念等により、先行き不透明な状況で推移しております。当社グループを取り巻く環境につきましても、円安の進行に伴う原材料や商品の仕入価格の高騰、消費者の低価格・節約志向により、厳しい経営環境が続いております。

しかしながら、このような環境下においても、業務スーパーの既存店舗売上高が前年比 105.5%と大幅に伸び、且つ、新規出店が順調に推移したこと、ならびに前期よりグループ会社となりましたジー・コミュニケーショングループの売上高が1年間寄与したことにより、単体・連結とも過去最高の売上高を計上し、業績予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましても、連結純利益は、業績予想を下回る見込みとなりましたが、販管費の削減や従前より推し進めております、六次産業化による神戸物産グループ全体の競争力強化により、単体・連結とも過去最高の営業・経常利益を計上し、業績予想を上回る見込みとなりました。

以上のことから、業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、個別業績予想の修正の理由についても、連結業績予想の修正と同一であります。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年12月12日発表)	—	0.00	—	60.00	60.00
今回修正予想	—	0.00	—	80.00	80.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年10月期)	—	0.00	—	70.00	70.00

修正の理由

当社は、株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、現在は更なる神戸物産グループの発展のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

今般、これらを勘案し検討した結果、前回予想より20円00銭増配(前期実績より10円00銭増配)し、80円00銭とすることを本日(平成26年12月8日)開催の取締役会で決議いたしました。

なお、本件につきましては、平成27年1月28日に開催予定の第29期株主総会に付議する予定でございます。

以 上